

2023年4月入学・2023年10月入学

April 2023 Admission・October 2023 Admission

広島大学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）

# 学生募集要項

Graduate School of Humanities and Social Sciences (Master's Course)  
Application Guidebook

人文社会科学専攻

Division of Humanities and Social Sciences

国際平和共生プログラム

International Peace and Co-existence Program

国際経済開発プログラム

International Economic Development Program

教育科学専攻

Division of Educational Sciences

国際教育開発プログラム

International Education Development Program

◆外国人留学生特別選抜

Special Selection for International Students

2022年7月 July 2022



広島大学

Hiroshima University

## 人間社会科学研究科アドミッション・ポリシー

人間社会科学研究科では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人間社会科学研究科は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

### Admission Policy of the Graduate School of Humanities and Social Sciences

The Master's Course of the Graduate School of Humanities and Social Sciences is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in the humanities, social sciences, educational sciences and other related fields, and who eventually aims to contribute to creating a “peace science that can lead to sustainable development” from diversified perspectives
2. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in the humanities, social sciences, educational sciences and other related fields, and who has a willingness to address challenges currently, or potentially in the future, confronting human society in order to contribute to building a global society of diversity, freedom and peace

In order to admit such individuals, the Graduate School of Humanities and Social Sciences selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations

## 人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

人文社会科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、人文科学や社会科学、及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

### Admission Policy of Division of Humanities and Social Sciences

The Division of Humanities and Social Sciences is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in the humanities, social sciences and other related fields, and who eventually aims to contribute to creating a “peace science that can lead to sustainable development” from diversified perspectives
2. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in the humanities, social sciences and other related fields, and who has a willingness to address challenges currently, or potentially in the future, confronting human society in order to contribute to building a global society of diversity, freedom and peace

In order to admit such individuals, the Division of Humanities and Social Sciences selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations.

## 教育科学専攻アドミッション・ポリシー

教育科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育科学専攻は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

## Admission Policy of Division of Educational Sciences

The Division of Educational Sciences is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in educational sciences and related fields, and who eventually aims to contribute to creating a “peace science that can lead to sustainable development” from diversified perspectives
2. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, a high level of knowledge and research skills in educational sciences and related fields, and who has a willingness to address challenges currently, or potentially in the future, confronting human society in order to contribute to building a global society of diversity, freedom and peace

In order to admit such individuals, the Division of Educational Sciences selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations.

(キャンパス内全面禁煙)

広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙です。

(Towards a smoke-free campus)

Smoking has been prohibited entirely in all HU campuses from January, 2020.

# 広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では、被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、令和4(2022)年度に実施する本学の入学者選抜において、入学検定料の免除措置を実施することとしましたので、お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に必ず以下の「8 問い合わせ先」までご連絡ください。

## 1 免除措置の対象となる入学者選抜

令和4(2022)年度に実施する本学の学部、大学院及び専攻科入試  
(再入学、転学及び編入学に係る選考を含みます。)

## 2 措置内容

入学検定料の免除

※ 入学試験成績の開示に係る手数料も、免除の対象となります。

## 3 免除の対象となる災害

(1) 平成30年7月豪雨による災害

(2) 令和元年8月28日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は、当該災害救助法適用日から5年を経過する日までの間に  
出願期間の最終日が設定されているものに限ります。

## 4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で、次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊、大規模半壊又は半壊した場合

(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は、次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

[http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo\\_tekiyou.html](http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html)

## 5 申請方法

事前に「8 問い合わせ先」に連絡した後、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

## 6 申請書類

(1) 検定料免除申請書(本学ホームページからダウンロード)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058>

(2) り災証明書(写し可) (上記4の(1)に該当する方)

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類(写し可) (上記4の(2)に該当する方)



## 7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載のPDFファイルを参照してください。

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/186130/menjo\\_r4\\_ver2.pdf](https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/186130/menjo_r4_ver2.pdf)

## 8 問い合わせ先

人間社会科学研究科 (国際協力学系支援室)

〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号

TEL : (082)424-5902

## 目次

- 人間社会科学研究科, 人文社会科学専攻, 教育科学専攻 アドミッション・ポリシー
- 広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

### 入試について

I. プログラム及び募集人員	P1
II. プログラムのアドミッション・ポリシー	P1
III. 出願資格	P2
IV. 出願手続	P3
V. 入学者選抜方法等	P4
VI. 入学手続	P5
教員一覧	P12
特別教育プログラム	P16

### Table of Contents

- Admission Policy of the Graduate School of Humanities and Social Sciences, Division of Humanities and Social Sciences, Division of Educational Sciences

### Information on Entrance Examination

I. Programs and Number of Students to be Admitted	P6
II. Admission Policy of Program	P6
III. Admission Requirements	P7
IV. Application Procedure	P8
V. Admission	P10
VI. Enrollment Procedure	P11
List of Members	P12
Special Education Program	P17

広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

Hiroshima University has established the university's Rules on Security Export Control in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, and conducts strict examinations for acceptance of international students, etc. Therefore, please be advised that International applicants may be unable to receive their desired education or conduct their desired research due to the restriction by the above regulations.

## I. プログラム及び募集人員

本学生募集要項は、国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム、国際教育開発プログラムに関する試験日程、選抜方法等の詳細を掲載したものであり、本学生募集要項の選抜における募集人員は、下表の「募集人員」欄のとおりです。

※新型コロナウイルス感染症の影響により試験期日や試験方法が変更される可能性があります。変更内容については本学ホームページ等で公表します。

2023年4月入学・2023年10月入学

専攻	プログラム	募集人員	問合せ先・出願書類提出先
人文社会科学	国際平和共生	4月入学 若干名 10月入学 若干名	〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号 人間社会科学研究科 (国際協力学系支援室) TEL : (082)424-5902 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
	国際経済開発		
教育科学	国際教育開発		

## II. プログラムのアドミッション・ポリシー

### 【国際平和共生プログラム】

国際平和共生プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養と共に、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究のいずれかに関連する学問領域、あるいはそれらの融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人
- ②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人

国際平和共生プログラムは、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

### 【国際経済開発プログラム】

国際経済開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い関心を持って、開発途上国が直面するグローバルな諸問題に挑みたい人
- ②健全な経済開発に資する社会科学研究を志向する人
- ③国際人としての共感を持って、多様な人々と協働できる人

国際経済開発プログラムは、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

### 【国際教育開発プログラム】

国際教育開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養と共に、教育学に関連する学問領域、あるいはその融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取れ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人
- ②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人

国際教育開発プログラムは、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施します。

### III. 出願資格

- ◇出願の時点で日本国外に在住する外国人で、次の各号のいずれかに該当するもの又は2023年3月31日若しくは2023年9月30日までに取得見込みのもの。
- ◇出願資格9又は10により出願しようとする者は、事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。
  1. 日本の大学を卒業した者
  2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
  3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
  4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
  5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  6. 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
  7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
  8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
  9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  10. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

#### 出願資格事前審査について

出願資格9又は10の志願者については、次のとおり事前審査を行います。

※事前審査の対象者は、国際協力学系支援室宛てE-mailにて申請書等の所定様式を請求してください。

#### 1. 事前審査書類提出期間

2023年4月入学志願者：2022年10月3日から10月7日17時まで（日本標準時間、必着）

2023年10月入学志願者：2023年3月6日から3月10日17時まで（日本標準時間、必着）

#### 2. 事前審査提出書類

◇各証明書は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

出願資格	提出書類	提出方法
出願資格9	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 学業成績証明書（学部及び大学院の両方） ④ 大学院の在学証明書又は修了証明書	①・② →データ（Word）をE-mail ③・④ →スキャンデータ（Pdf）をE-mailで送付後、原本を郵送
出願資格10 （注）	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2枚程度、所定様式を使用） ④ 最終学歴の卒業証明書 ⑤ 所属長による研究経歴の証明書（研究経歴のある者）	①・②・③ →データ（Word）をE-mail ④・⑤ →スキャンデータ（Pdf）をE-mailで送付後、原本を郵送

（注）出願資格10について、中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは、卒業（修了）見込みの者は、3頁の備考1を参照すること。

#### 3. 事前審査書類提出先

##### I. プログラム及び募集人員を参照してください。

○郵送で提出する書類（各証明書の原本）

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「出願資格事前審査書類在中」と朱書きの上、郵送してください。

○E-mailで提出する書類

件名に「出願資格事前審査書類の提出」と表記の上、Word・Pdf等の電子データをE-mailに添付・送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを別けて、正しいファイル名称を付してください。

ファイル名称の例…「① 事前審査申請書」など

4. 事前審査結果の通知

事前審査結果については、2023年4月入学志願者は2022年10月17日までに、2023年10月入学志願者は2023年3月13日までに、本人あてにE-mailで通知します。

IV. 出願手続

1. 出願書類等

◇次の表に掲げる書類等のすべてを提出してください。なお、出願資格事前審査で提出済の場合は、再提出不要です。

◇出願書類の所定様式については、志望する指導教員に了解を得た上で、国際協力学系支援室宛てE-mailにて請求してください。なお、その際に検定料の振込方法についてもご案内します。

◇各証明書（語学検定試験の成績証明書を除く。）は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

提出書類	摘 要	提出方法	
		郵送	E-mail
① 入学志願票	所定様式を使用	○	○ Word
② 研究計画書	所定様式を使用し、具体的な研究内容について日本語又は英語で作成したもの	/	○ Word
③ 学業成績証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※学業成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は、別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。	○	○ Pdf
④ 卒業(修了)証明書 又は 卒業(修了)見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※卒業（修了）者の場合は、証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは、卒業（修了）見込みの者は、備考1を参照すること。	○	○ Pdf
⑤ 推 薦 書 2通	1. 出身大学の指導教員が作成したもの1通 2. 所属している機関の長又は出身大学長（学部長）が作成したもの1通 いずれも所定様式を使用すること。	/	○ Pdf
⑥ 語学検定試験の成績証明書	TOEFL®等の英語検定又は日本語検定試験等（入学試験日から過去2年以内に受験したものが望ましい。英語を第一言語とする者は提出不要。）	/	○ Pdf
⑦ 検 定 料	30,000円（日本円で支払うこと。） ※所定様式請求時に案内する検定料の払込方法に従って、振込期限までに支払いを完了すること。 ※ただし、10月入学の入学試験については、2023年3月を目途に納付金額が決定される予定です。金額に変更のある場合はホームページでお知らせします。	/	/

※新型コロナウイルスの影響により、出願書類の提出が難しい場合は、国際協力学系支援室までご相談ください。

備考1：中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは卒業（修了）見込みの者は、以下全ての書類を提出すること。

- ・既卒者：a.毕业证书 及び 学士（硕士）学位证书
- b.学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）



- ・卒業（修了）見込者: a.卒業（修了）見込証明書  
b.オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

上記のうち、書類bは中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>) より取得すること。なお、発行手数料は志願者が負担すること。また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認すること。

- 備考2: 提出書類のうち英語又は日本語以外によるものは日本語又は英語の訳を付し、原本と訳の両方を提出すること。
- 備考3: 「語学検定試験の成績証明書」を提出できない場合にのみ、外国の大学において英語による教育課程を卒業した旨の大学発行の証明書提出で替えることができる。
- 備考4: GRE(General Test)を受験した者は、成績証明書を提出してください。(提出は必須ではありません。) ※成績証明書は、出願期間内にETSより直接広島大学に送付されるよう手配してください。(機関コード: 2358) ただし、受験者本人へ送付された成績証明書も受け付け可とします。

## 2. 出願方法

志願者は、志望する指導教員に事前に了解を得た上、出願書類を下記出願期間中に提出してください。

### (1) 出願期間

- ① 4月入学希望者: 2022年11月3日から11月14日17時まで(日本標準時間, 必着)
- ② 10月入学希望者: 2023年4月4日から4月14日17時まで(日本標準時間, 必着)

#### ○郵送で提出する書類(各証明書の原本)

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際に必ず書留郵便とし、封筒表面に「出願書類在中(人間社会科学研究科)」と朱書きの上、郵送してください。

#### ○E-mailで提出する書類

件名に「出願書類の提出(人間社会科学研究科)」と表記の上、Word・Pdf等の電子データをE-mailに添付・送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを別けて、正しいファイル名称を付してください。

ファイル名称の例…「③ 学業成績証明書(学部)」など

### (2) 出願書類の提出先

**I. プログラム及び募集人員**を参照してください。

### (3) その他

- ① 受付後の記載内容の変更は、認めません。
- ② 原則として出願書類は返還しません。
- ③ 出願受付後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。
- ④ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。  
なお、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

## V. 入学者選抜方法等

### 1. 入学者選抜方法

学力検査は、書類審査(学業成績証明書、研究計画書その他の出願書類)及び口述試験について行い、研究意欲、専門分野の知識・応用力、英語の語学力、課題解決能力、適性等に関する評価を行います。

### 2. 評価基準

(1) 書類審査及び口述試験の判定は、以下の3段階により行い、Cを不合格とします。

A	非常に優れている(志望プログラムの入学に最も適当であると認められるもの)
B	優れている(志望プログラムの入学に適当であると認められるもの)
C	劣っている(志望プログラムの入学に不適當であると認められるもの)

(2) 総合判定は、合格又は不合格とし、書類審査及び口述試験の両方に合格した者を合格とします。

### 3. 合格者発表

合格者発表は、4月入学者については2022年12月23日、10月入学者については2023年5月22日に行い、合格者に通知する予定です。電話/E-mailによる照会には応じません。

## VI. 入学手続

### 1. 入学手続期間

4月入学者は3月上旬、10月入学者は9月上旬の指定する期間に入学手続を行うこととなります。詳細については別途お知らせします。

### 2. 納入金

入学料 282,000円

授業料(年額) 535,800円

(1) 金額は2022年4月現在のものであります。入学時あるいは在学中に納入金の改定が行われた場合は、改定後の金額を納入することとなります。

(2) 入学料は入学手続時、授業料は入学後に納入することとなります。納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料・授業料の免除及び徴収猶予の申請方法については別途お知らせします。

(3) 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

### 3. 注意事項

(1) 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

(2) 卒業（修了）見込で出願して合格した者が、入学日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学を取り消します。

## I. Programs and Number of Students to be Admitted

This student application guidebook describes the schedule of the entrance examination and the method for selecting students for “International Peace and Co-existence Program”, “International Economic Development Program”, “International Education Development Program” and the number of students to be admitted by this student application guidebook are listed below.

**※The examination date and method of selection may be changed due to the effect of the COVID-19. The changes will be announced on the website of Graduate School of Humanities and Social Sciences, Hiroshima University.**

April 2023 Admission    •    October 2023 Admission

Division	Program	Number of Students	Inquiries, Submission
Humanities and Social Sciences	International Peace and Co-existence	April Admission: Several October Admission: Several	Support Office for the fields of International Development and Cooperation 1-5-1 Kagamiyama, Higashi-Hiroshima 739-8529, Japan Tel: +81-(0)82-424-5902 E-mail:koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
	International Economic Development		
Educational Sciences	International Education Development		

## II. Admission Policy of Program

### 【International Peace and Co-existence Program】

The International Peace and Co-existence Program is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, specialized knowledge and research skills in an academic field related to peace studies, politics, law, cultural anthropology, or regional studies, or in interdisciplinary fields related to those disciplines; who has an international perspective and the ability to communicate with people from different countries; and who is willing to work with others to tackle issues confronting human society today in order to realize a global society of diversity, freedom and peace
2. A person who has a desire to play a more active role not only in his/her home country but also on the global stage; and who seeks to enhance the qualities and abilities required for researchers or highly specialized professionals, based on his/her experience in companies, international organizations, international agencies or non-governmental organizations for international cooperation, or local communities, and through learning and research activities at graduate school

In order to admit such individuals, the International Peace and Co-existence Program selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations.

### 【International Economic Development Program】

The International Economic Development Program is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who follows a range of interests and is motivated to tackle various global issues confronting developing countries
2. A person who has the desire to pursue social science research that contributes to healthy economic development
3. A person who has the international perspective required to play an active role on the global stage and is willing to work with a diversity of people

In order to admit such individuals, the International Economic Development Program selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations.

### 【International Education Development Program】

The International Education Development Program is seeking students who have a strong motivation and passion to pursue the following objectives and who have the fundamental academic abilities required to achieve them.

1. A person who is motivated to acquire, in addition to a wide range of general knowledge, specialized knowledge and research skills in disciplines related to educational studies or in interdisciplinary fields related to those disciplines; who has an international perspective and the ability to communicate with people from different

countries; and who is willing to work with others to tackle issues confronting human society today in order to realize a global society of diversity, freedom and peace

2. A person who has a desire to play a more active role not only in his/her home country but also on the global stage; and who seeks to enhance the qualities and abilities required for researchers or highly specialized professionals, based on his/her experience in companies, international organizations, international agencies or non-governmental organizations for international cooperation, or local communities, and through learning and research activities at graduate school

In order to admit such individuals, the International Education Development Program selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using interviews, academic tests, and external examinations.

### III. Admission Requirements

- ◇The applicant must be a non-Japanese citizen residing outside of Japan at the time of application and meet one of the following stipulations or expected to acquire one of the following stipulations by March 31, 2023 or September 30, 2023.
- ◇The applicant falls under stipulation 9 or 10 must refer to “Preliminary Evaluation of Admission Requirements” and undergo a preliminary evaluation of admission requirements.
  1. A person who graduated from a Japanese university stipulated by the 1947 School Education Law (No. 26, Article 83)
  2. A person who has received a bachelor’s degree from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education, in accordance with the 1947 School Education Law (No. 26, Article 104, Section 7)
  3. A person who has completed 16 years of formal schooling in a foreign country
  4. A person who has completed 16 years of formal schooling in a foreign country, by earning the credit(s) of correspondence course(s) in the schooling program in Japan
  5. A Person who has taken courses from a foreign university in Japan (completing sixteen years of education) thereby completing the required number of years of schooling, of which is recognized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (hereinafter referred to as “MEXT”)
  6. A Person who has been conferred a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Minister of MEXT as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete (Includes graduating from a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as graduating from a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and has received the designation mentioned above)
  7. A person who has completed the specialized curriculum of a higher vocational school, of four years or more, and has been specially selected by the Minister of MEXT
  8. A person who has been specially selected by the Minister of MEXT
  9. A person who has entered a graduate school, in accordance with the 1947 School Education Law (No. 26, Article 102, Section 2) and recognized by Graduate School as having a suitable academic ability to engage in graduate level studies
  10. A person who is 22 years old or more, recognized by Graduate School as having academic ability equivalent to that of a university graduate

#### Preliminary Evaluation of Admission Requirements

Applicants who fall under the stipulation 9 or 10 are required to undergo a preliminary evaluation of admission requirements. The procedures are outlined below.

For those who need to undergo a preliminary evaluation, please obtain the prescribed forms from Support Office for the fields of International Development and Cooperation by E-mail.

1. Submission Period
  - For April Enrollment – October 3 to 17:00, October 7, 2022 (Japan Standard Time, Must Arrive)
  - For October Enrollment – March 6 to 17:00, March 10, 2023 (Japan Standard Time, Must Arrive)
2. Documents to be submitted
  - ◇Each certificate must be the original. However, if a new certificate is not issued, a certified copy of the original (certified by the official organization (preferably the issuing organization) as being the same as the original) will be accepted.
  - ◇Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

Stipulation	Document Type	How to submit
Stipulation 9	(1) Preliminary evaluation application form (use the prescribed form) (2) Curriculum Vitae (use the prescribed form) (3) Undergraduate and Graduate Academic transcripts (4) Certificate of enrollment or graduation from a graduate school	(1) and (2) →Submit Word files by E-mail (3) and (4) →Submit original documents by mail after sending scanned original documents (Pdf) by E-mail
Stipulation 10 (※)	(1) Preliminary evaluation application form (use the prescribed form) (2) Curriculum Vitae (use the prescribed form) (3) Statement by applicant demonstrating that he/she has an academic ability equivalent to that of a university graduate (use the prescribed form) (4) Certificate of Graduation (a certificate showing the last degree obtained) (5) Certificate of Research History by the immediate supervisor (a person who has research history)	(1), (2) and (3) →Submit Word files by E-mail (4) and (5) →Submit original documents by mail after sending scanned original documents (Pdf) by E-mail

※**Note for Stipulation 10:** If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please see the Note 1 on page 9.

### 3. Address for submission

#### Refer to **I. Programs and Number of Students to be Admitted**

- ◇ Documents to be submitted by mail (original or certified copy)  
Without exception, it is required to mail (by registered mail) the documents to be received before the deadline. Please write the following text clearly in red on the envelope:  
“Application for Preliminary Evaluation Enclosed”
- ◇ Documents to be submitted by E-mail  
Please send Word or Pdf files by E-mail with the subject line "Submission of documents for Preliminary Evaluation of Admission Requirements". Please be sure to separate the files for each submitted document and name the files correctly.  
Example of file name: "(1) Preliminary evaluation application form " etc.

### 4. Notification of preliminary evaluation results

The applicant for April enrollment will be notified of the result of the preliminary evaluation by October 17, 2022;  
The applicant for October enrollment will be notified of the result of the preliminary evaluation by March 13, 2023.

## IV. Application Procedure

### 1. Documents for application

- ◇ Submit all the documents listed below during the application period. Documents that have already been submitted in the “Preliminary Evaluation of Admission Requirements” do not need to be resubmitted.
- ◇ Please contact Support Office for the fields of International Development and Cooperation for the prescribed forms by E-mail after obtaining consent from the prospective academic advisor. Information on how to transfer the Application Fee will also be provided at that time.
- ◇ Each certificate (except “Language Test Score Certificate”) must be the original. However, if a new certificate is not issued, a certified copy of the original (certified by the official organization (preferably the issuing organization) as being the same as the original) will be accepted.
- ◇ Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

Document Type	Details	How to submit	
		Mail	E-mail
(1) Application Form	Use the prescribed form	○	○ Word
(2) Research Proposal	A detailed research proposal written in either Japanese or English (Use the prescribed form)	/	○ Word

Document Type	Details	How to submit	
		Mail	E-mail
(3) Academic Transcript(s)	Issued by the president of the university or the dean of the faculty the applicant attended or is attending. *If the applicant enrolls in or has completed a graduate school, documents of the graduate program as well as the undergraduate program must be submitted. *If there is no explanation about grading system on the transcript, separate official document explaining the system must be attached.	○	○ Pdf
(4) Certificate(s) of (Expected) Graduation	Issued by the president of the university or the dean of the faculty the applicant attended or is attending. *If the applicant enrolls in or has completed a graduate school, certificates of the graduate program as well as the undergraduate program must be submitted. * If you are a graduate, make sure that the certificate includes the degree information. *If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please see the Note 1 on page 9.	○	○ Pdf
(5) Two Letters of Recommendation	1.Recommendation from an academic advisor 2.Recommendation from the head of an organization to which the applicants belongs or the president of the university (dean of the faculty). Prescribed form must be used.	/	○ Pdf
(6) Language Test Score Certificate	TOEFL® or other equivalent English language test, or Japanese Language Proficiency Test or other equivalent Japanese language test. The tests taken within 2 years before the examination date is preferred. Applicants whose first language is English are not required to submit this certificate.	/	○ Pdf
(7) Application Fee	¥30,000 for April enrollment (Japanese Yen only). ※ Payment must be completed by the transfer deadline in accordance with the information on how to transfer the Application Fee provided at the time of requesting the prescribed form. ※The amount of application fee for October enrollment will be determined in around March 2023.If there is a change , we will inform the revised amount on the website.	/	/

※If you have difficulty submitting documents for application due to the effect of the new coronavirus, please consult the Support Office for the fields of International Development and Cooperation.

Note1: If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please submit all the following documents.

• Graduates:

(a) Certificate of Graduation (毕业证书) and Bachelor/Master's Diploma (学位证书)

(b) Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate (教育部学历证书电子注册备案表)

• Expected Graduates:

(a) Certificate of Expected Graduation

(b) Online Verification Report of Student Record (教育部学籍在线验证报告)

The document (b) above must be obtained through “中国高等教育学历证书查询(CHSI)”

(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>). Please note that applicants must pay the issuing fee for the Online Verification Report by themselves. Also be sure that there are 15 or more days left until the expiration date of the online verification at the time of its submission.

Note2: Documents written in languages other than English or Japanese must be translated into English or Japanese. Submit both the original and translated documents.

Note3: If an applicant is unable to submit “Language Test Score Certificate”, an official document made by the university which certifies that the medium of instruction in the foreign institution which the applicant has attended/is attending is English will be accepted.

Note4: Submit a GRE General Test Official Score, if available. (The submission of the GRE score is optional.) The Official Score Report must be sent by ETS directly to Hiroshima University (Institution Code: 2358) no later than the submission period. (The Examinee Score Report sent to applicants from ETS is acceptable as well.)

## 2. Application Procedure

All applicants must obtain consent from their prospective academic advisor who is reported in the application form in advance, and submit all documents in accordance with the time and period below:

### (1) Application time period:

For April Enrollment – November 3 to 17:00, November 14, 2022(Japan Standard Time, Must Arrive)

For October Enrollment – April 4 to 17:00, April 14, 2023(Japan Standard Time, Must Arrive)

#### ◇Documents to be submitted by mail (original or certified copy)

Without exception, it is required to mail (by registered mail) the documents to be received before the deadline. Please write the following text clearly in red on the envelop:

“Application for Master’s Course , Graduate School of Humanities and Social Sciences”

#### ◇Documents to be submitted by E-mail

Please send Word or Pdf files by E-mail with the subject line "Submission of documents for Master’s Course, Graduate School of Humanities and Social Sciences ". Please be sure to separate the files for each submitted document and name the files correctly.

Example of file name: "(3) Academic Transcript (Undergraduate) " etc.

### (2) Submit applications to:

Refer to **I. Programs and Number of Students to be Admitted**

### (3) Others

i) Documents may neither be altered nor amended after submission.

ii) In principle, application materials will not be returned.

iii) Application fee is non-refundable for any reason after the application forms have been accepted.

iv) Personal information (name, date of birth, gender, etc.) recorded on application forms will be used in the selection of entrants, notification of passing of entrance exams, and also entrance procedures. Once successful applicants have entered the university, the university will manage the data for use in matters relating to student support (scholarship applications, tuition fee exemption applications etc.). This data will not be used for any other purpose or be seen by anyone except staff of this university.

However, after an agreement has been made regarding the appropriate use of personal information, there may be cases whereby related business is entrusted to companies outside the university for purposes of computer management.

## V. Admission

### 1. Selection Process

The academic examination consists of the Document Review (Academic Transcripts, Research Proposal, and other application documents) and the Oral Examination to evaluate the applicant's motivation for research, knowledge and applied skills in the applicant's field of specialization, English language skills, problem-solving ability, and aptitude.

### 2. Evaluation Criteria

(1) The results of the Document Review and the Oral Examination will be evaluated in scale of three level indicated below.

A	Excellent (Most Appropriate for Enrollment)
B	Good (Appropriate for Enrollment)
C	Poor (Inappropriate for Enrollment)

(2) Those who have passed both the Document Review and Oral Examination will be successful applicants.

### 3. Announcement of Admission

Announcement of admission for April 2023 enrollment will be on December 23, 2022 (tentative schedule).

Announcement of admission for October 2023 enrollment will be on May 22, 2023 (tentative schedule).

A written notice will be sent to all successful applicants on the announcement day. Telephone/E-mail inquiries will not be answered.

## **VI. Enrollment Procedure**

### **1. Period**

Early of March for April enrollment and early of September for October enrollment. More details will be informed later.

### **2. Fees**

Enrollment Fee: ¥ 282,000

Tuition Fee: ¥ 535,800 (for one year)

(1) The above amount is as of April 2022. In case of the revision of the amount at the time of enrollment or during the period of enrollment, the most recent tuition fees will always apply.

(2) Enrollment fee must be paid at the time of enrollment and tuition fee must be paid after the enrollment. Exact amount, detailed payment methods, and information on enrollment/tuition fee exemption or deferment application will be announced later.

(3) Enrollment fee, once paid, will not be reimbursed under any circumstances.

### **3. Notes**

(1) Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

(2) For applicants accepted on the condition of graduation from currently enrolled university, admission will be cancelled if s/he cannot graduate by the time of enrollment.



# 教員一覧 List of Members

## 人文社会科学専攻 Division of Humanities and Social Sciences

### 【国際平和共生プログラム International Peace and Co-existence Program】

職名 Position	氏名 Name	担当授業科目名 Subject	研究内容 Research Theme
教授 Professor	片柳 真理 KATAYANAGI, Mari	Peacebuilding I, Peacebuilding II, Law and Human Rights	紛争解決論, 平和構築, 平和維持, 紛争予防, 国際人権法 Conflict resolution, Peacebuilding, Peacekeeping, Conflict prevention, and International human rights law
教授 Professor	川野 徳幸 KAWANO, Noriyuki	Hiroshima Peace Studies I, Hiroshima Peace Studies II	平和学, 原爆被爆被害研究, グローバル核被害研究 Peace Studies, Studies on A-Bomb and Global Nuclear Disasters
教授 Professor	関 恒樹 SEKI, Koki	Basic Cultural Anthropology II, Contemporary Anthropology II	開発・社会政策・平和の文化人類学的研究, フィリピンを中心とした東南アジア地域研究 Cultural Anthropology of Development, Social Policy, and Peace, Area Studies of the Philippines and Southeast Asia
教授 Professor	長坂 格 NAGASAKA, Itaru	Contemporary Anthropology II	社会文化人類学, 移住研究, 東南アジア研究 Social and cultural anthropology, Migration studies, Southeast Asian Studies
教授 Professor	吉田 修 YOSHIDA, Osamu	International Politics I, International Politics II	先進国が築き上げてきた既存の国際秩序と, 途上国の外交政策との間の相互作用の分析 Analyzing the interaction between the present international order established through the historical dominance of Western Powers on the one hand, and the foreign policies of developing nations to restore their strength in international society on the other.
准教授 Associate Professor	掛江 朋子 KAKEE, Tomoko	Conflict Resolution I, Conflict Resolution II	紛争解決論, 国際法に関する研究 Studies on Conflict Resolution and International Law
准教授 Associate Professor	シマンガン ダリア コリアード SIMANGAN Dahlia Collado	Peacebuilding Case Studies	国際関係論, 平和構築理論, 国連平和構築活動, 平和と持続可能性の連携, 人新世 International Relations Theory, Peacebuilding Theory, United Nations Peacekeeping Operations, Peace-Sustainability Nexus, Anthropocene
准教授 Associate Professor	友次 晋介 TOMOTSUGU, Shinsuke	International Security I, International Security II	核拡散, 大量破壊兵器 (WMD) の拡散, テロリズム, 非伝統的安全保障に関する研究 Proliferation of latent nuclear capacity, Weapons of Mass Destruction(WMD), terrorism, and non-traditional security issues
准教授 Associate Professor	ファン・デル・ドゥ ース ルリ VAN DER DOES, Luli	Hiroshima Peace Heritage I, Hiroshima Peace Heritage II	言説と表象の分野横断型実証研究, 記憶学 (紛争と平和), 原爆ひばく体験継承, 応用リスク論 Interdisciplinary Empirical Study of Discourse and Representations, Memory Studies (Conflict and Peace), Heritage of the Atomic-Bomb Experiences, Applied Risk Theory
准教授 Associate Professor	山根 達郎 YAMANE, Tatsuo	Peace and Conflict Research I, Peace and Conflict Research II	平和と安全保障, 武力紛争, 平和構築, グローバル・ガバナンス Peace and Security, Armed Conflict, Peacebuilding, and Global Governance
講師 Lecturer	中空 萌 NAKAZORA, Moe	Basic Cultural Anthropology I, Contemporary Anthropology I	環境と開発をめぐる人類学, 科学技術社会論, インドを中心とした南アジア地域研究 Anthropology of the Environment and Development, Science and Technology Studies, Area Studies of South Asia (particularly India)

**【国際経済開発プログラム International Economic Development Program】**

職名 Position	氏名 Name	担当授業科目名 Subject	研究内容 Research Theme
教授 Professor	市橋 勝 ICHIHASHI, Masaru	経済統計分析論 Economic Statistical Analysis	アジア経済の数量的比較分析, 国際地域経済分析, 産業構造の発展分析, 日本経済論・経済政策論, 経済統計分析論 Quantitative Comparison for Asian Economy, International and Regional Studies of Economy, Analysis for Industrial Development, Japanese Economic System, Economics Statistics Analysis
教授 Professor	金子 慎治 KANEKO, Shinji	環境政策論 Environmental Policies	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究 Study on Sustainable Development for Developing Countries Environmental Policy Studies in Asia
教授 Professor	△マハラジャン, ケシャブ・ラル MAHARJAN, Keshav Lall	農村開発論 国際協力論 Rural Development, International Cooperation	農村経済論—農業経済, 農村の現実と変容に関する諸問題 南アジア研究—近現代における社会経済の構造と変容 Rural Economics; issues related to agricultural economy and rural dynamics South Asian Studies: issues related to socio-economy of South Asia
教授 Professor	吉田 雄一郎 YOSHIDA, Yuichiro	開発計量経済学I 開発計量経済学II Applied Econometrics I, Applied Econometrics II	最適な社会資本とその実現に必要な公共政策についての分析 開発途上国のマクロ経済的比較分析 Study on the Optimal Social Capital and the Public Policy towards the Economic Growth and Development Comparative Macroeconomic Analysis in Developing Countries
准教授 Associate Professor	後藤 大策 GOTO, Daisaku	開発ミクロ経済学I 開発ミクロ経済学 II Development MicroeconomicsI, Development MicroeconomicsII	開発と環境の政策研究のための応用ミクロ経済学 開発と環境経済学における実験室実験とフィールド実験 Applied Microeconomics for Development and Environmental Policy Studies Lab and Field Experiments in Development and Environmental Economics
准教授 Associate Professor	シャリフィ アユーブ SHARIFI Ayyoob	都市政策論 Urban Policy	都市計画及び都市政策, 環境計画及び環境管理, 気候政策, 持続的な都市 Urban Planning and Policy Development, Environmental Planning and Management, Climate Policy, Sustainable Cities
准教授 Associate Professor	高橋 与志 TAKAHASHI, Yoshi	人的資源開発論 Human Resource Development	人的資源開発・管理論, 技術経営論, 中小企業経営論 Human Resource Development / Management, Management of Technology, Management of Small and Medium-sized Enterprises
准教授 Associate Professor	ジョシ ニラズ ブラカシュ JOSHI, Niraj Prakash	農業生産経済分析 国際協力論 Agriculture Producti on Economics International Cooperation	気候変動, 農業技術, 農業経済, 農村開発に関する研究 Climate change, agricultural technology adoption, agriculture production economics, poverty and rural development in developing country

**教育科学専攻 Division of Educational Sciences**

**【国際教育開発プログラム International Education Development Program】**

職名 Position	氏名 Name	担当授業科目名 Subject	研究内容 Research Theme
教授 Professor	川合 紀宗 KAWAI, Norimune	インクルーシブ教育論 Inclusive Education	特別支援教育, インクルーシブ教育, ソーシャル・インクルージョンの理論, 制度および実践に関する研究 Theories, Systems, and Practices of Special Needs Education, Inclusive Education, and Social Inclusion

職名 Position	氏名 Name	担当授業科目名 Subject	研究内容 Research Theme
教授 Professor	齊藤 一彦 SAITO, Kazuhiko	スポーツ教育開発論 Sport Education and Development	体育・スポーツを通じた国際開発, 国際比較スポーツ教育 International Development through Sport Education, International Comparison of Sport Education
教授 Professor	佐藤 暢治 SATO, Nobuharu	民族言語教育論 Education for Ethno- Languages	中国甘粛・青海省のモンゴル系諸言語における民族言語学的研究 Ethno-linguistic studies on the Mongolian languages of Gansu and Qinghai Provinces, China
教授 Professor	清水 欽也 SIMIZU, Kinya	科学教育開発基礎論 Foundation of Curriculum Development for Science Education	途上国における理科教育国際協力・科学教育に関する教育研究及び その他教科の授業開発・分析 Science education, principles of science curriculum, and development and analysis of lessons in other subjects
教授 Professor	馬場 卓也 BABA, Takuya	数学教育開発論 Mathematics Education Development	数学教育開発論の国際的展開に関する研究及びその他教科の授業開 発・分析 Research on mathematics education development in international perspective, and development and analysis of lessons in other subjects
教授 Professor	△堀田 泰司 HOTTA, Taiji	高等教育開発論 Development of Higher Education	途上国における教育開発政策の比較研究, 国際的高等教育交流に関 する研究 Comparative policy studies of educational development in developing countries, and the study of global educational exchanges in higher education
教授 Professor	吉田 和浩 YOSHIDA, Kazuhiro	国際教育協力論 Study on International Cooperation in Education	国際教育協力に関する実践的・開発的研究 Practical researches on Promoting International Cooperation in Educational Development
教授 Professor	渡辺 健次 WATANABE, Kenzi		実践的ICT利活用教育, 情報ネットワークの教育への応用 Practical Use of ICT in Education, Application of Information Network Systems in Education
准教授 Associate Professor	大場 淳 OBA, Jun	高等教育基礎論Ⅱ (制度・政策) Higher Education in Japan Higher Education Foundation II (Structure & Policy)	高等教育の制度や政策に関する理論や実践並びに国際比較 日本の高等教育の概論 Theories and practices of higher education structure and policy as well as international comparison Introduction to Japanese Higher Education
准教授 Associate Professor	日下部 達哉 KUSAKABE, Tatsuya	途上国の比較教育学 Comparative Education in Developing Countries	発展途上国の社会・経済構造と教育との関係を比較の視点からアプ ローチする研究 Comparative study of relationship between social, economic structure fluctuation and education in developing countries
准教授 Associate Professor	櫻井 里穂 SAKURAI, Riho	基礎教育開発論 Basic Education and Development	比較国際教育・教育政策・インクルーシブ教育・ダイバーシティ、 インクルージョン研究 Comparative and International Education・Education policy・Inclusive education・Diversity inclusion studies
准教授 Associate Professor	谷口 京子 TANIGUCHI, Kyoko	教育開発計画論Ⅰ・Ⅱ Planning for Educational DevelopmentⅠ・Ⅱ	低・中所得国(アフリカやアジア地域)における教育開発計画や教 育政策に関する研究 Studies on Educational Planning and Education Policy in Low- and Middle-income Countries (Africa and Asia)
准教授 Associate Professor	中矢 礼美 NAKAYA, Ayami	地域カリキュラム開発論 Local Curriculum Development	地域に根差したカリキュラムの開発及びそのマネジメントについ ての比較研究, 比較教育学 Comparative Studies of Local Curriculum Development, Management and Evaluation, Comparative Education
准教授 Associate Professor	藤木 大介 FUJIKI, Daisuke		学習科学, 認知心理学, 知識構成, 言語心理学 Learning science, cognitive psychology, knowledge construction, psychology of language

職名 Position	氏名 Name	担当授業科目名 Subject	研究内容 Research Theme
准教授 Associate Professor	牧 貴愛 MAKI, Takayoshi	教育人材開発論 Human Resource Development for Education	アジア諸国における教育人材開発（教師教育），比較教育学 Studies on Human Resource Development for Education (teacher education) in Asian countries, Comparative Education
准教授 Associate Professor	三輪 千明 MIWA, Chiaki	幼児教育・保育開発論 I・II Development of Early Childhood Care and Education I, II	途上国における幼児教育の効果に関する研究，保育分野の国際協力 Studies on the effects of early childhood education in developing countries, International cooperation in early childhood care and education
准教授 Associate Professor	キム ヤンソ KIM, Yangson	Comparative Studies in Higher Education	比較教育，国際教育，および開発教育の観点から高等教育を分析する Studies of higher education from the perspectives of comparative, international, and development education

注) △印は，標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので，この教員を指導教員として志願する者は，出願時に人間社会科学研究所(国際協力学系支援室)に問い合わせること。

△Professors who will cease regular teaching within the standard completion period of the thesis. Applicants are allowed to select him/her as supervisor, but need to inquire of the staff in Graduate School of Humanities and Social Sciences (Support Office for the fields of International Development and Cooperation).

注) 募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には，人間社会科学研究所ホームページに掲載するので，相談前にあらかじめホームページを確認すること。

Note that "List of Members" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences. Therefore, please confirm the HP before consulting with a professor.

# 国際環境リーダー育成特別教育プログラム

## 背景

近年、地球温暖化、生物多様性の減少、砂漠化の進行、発展途上国の公害問題など、人類の生存基盤にかかわる深刻な地球環境問題に関する広範な知識や解決策に向けた分析力は、国際開発や国際協力のあらゆる分野において必要となる基本的な専門性となりつつあります。こうした専門性を身につける追加的な教育機会を提供するために、広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）では、「国際環境リーダー育成特別教育プログラム（GELsプログラム）」を実施します。

## 目的

GELsプログラムでは、複眼的、国際的視野で国や地域が直面する課題を見出し、戦略的解決策を設計できる環境リーダーの育成を目的とします。

## 利点

- ✓ 持続可能な社会を構築するために必要な、自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え、様々な分野の第一線で活躍する専門家から、学際的知識を得ることができます。
- ✓ 様々な専門や経験を持つ学生と共に学習し、高いコミュニケーションスキルを修得できます。
- ✓ GELsプログラムの学生向けのセミナーやインターンシップ・フィールドワークなどの取り組みがあります。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には、修了証が授与されます。

## プログラム登録要件

上記学位プログラムの学生であれば、国籍に関わらず本プログラムに登録できます。  
登録時期は、4月と10月の年2回となります。

## お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科  
大学院先進理工系科学研究科  
（国際協力学系支援室（GELsプログラム担当））

E-mail: [koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp)

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/education/special\\_program/gels](https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/education/special_program/gels)



## Global Environmental Leaders Special Education Program

### BACKGROUND

In recent years, broader knowledge and analytical skills to cope with global environmental issues such as climate change, biodiversity losses, desertification, pollution in developing countries, and so on that threaten the existence of humans have become necessary fundamental expertise for any areas related to global sustainability and international cooperation. In order to offer an additional educational opportunity for having such expertise, The Graduate School of Humanities and Social Sciences(International Peace and Co-existence Program, International Economic Development Program, International Education Development Program) and The Graduate School of Advanced Science and Engineering(Transdisciplinary Science and Engineering Program) of Hiroshima University (hereinafter "HU") have been implementing the Global Environmental Leaders Special Education Program (GELs Program).

### OBJECTIVES

The GELs Program is to nurture global environmental leaders who are capable of identifying problems and formulating strategic solutions at the national and local level through interdisciplinary and international perspectives.

### ADVANTAGES

- ✓ GELs students can obtain necessary knowledge and skills to create a sustainable society based on students' individual specializations as well as interdisciplinary knowledge from experts in various fields.
- ✓ GELs students can acquire communication skills by studying with peers with diverse backgrounds and areas of experience.
- ✓ GELs program offers various educational opportunities. (ex. special seminar, internship, and fieldwork)
- ✓ Certificate of completion is conferred upon satisfying the requirements of the program.

### HOW TO REGISTER THE PROGRAM

Any HU students, regardless of nationality, are welcome to register. Students who wish to participate in GELs program are required to submit the registration form by the designated deadline in April and October.

### CONTACTS

Graduate School of Humanities and Social Sciences, Hiroshima University  
Graduate School of Advanced Science and Engineering, Hiroshima University  
(Support Office for the fields of International Development and Cooperation (GELs program))  
E-mail: [koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp)  
[https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/idec/education/special\\_education/courses/gels](https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/idec/education/special_education/courses/gels)

